

## 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルスの感染拡大は、地域経済や県民生活に大きな影響を与えています。これからは、感染症対策の長期化を見据え、感染防止の3つの基本である(1)「身体的距離の確保」、(2)「マスクの着用」、(3)「手洗い」など、感染拡大を予防する「新しい生活様式」の実践を図ることが重要になります。

農業者の皆様におかれましては、これからもご自身の農業経営が継続されますよう、今一度、予防対策の徹底を図られますことをお願いいたします。

### 予防対策の徹底

予防対策を実施するにあたり、家族や作業者ができることを確実に実施することが大切です。

- ① 作業開始前に体温測定や体調を記録しましょう。
- ② 農場や施設等への入退場時における手洗い、アルコールで手指の消毒等を徹底しましょう。
- ③ 3密（密集、密接、密閉）を回避するため、作業は可能な限り、分散して実施しましょう。
- ④ ハウスや作業場、集出荷施設、畜舎等の屋内で作業をする場合は、マスクを着用し、複数で行う場合等は、定期的（1時間に2回以上）に換気を行いましょ
- ⑤ マスクを着用する場合は、熱中症に注意し、十分に水分を補給しましょう。
- ⑥ 農業用施設や集出荷施設等への部外者の立ち入りを最小限にしましょう。
- ⑦ 施設・機械の清掃、消毒

通常の清掃に加えて、アルコール（消毒用エタノール）や薄めた家庭用塩素系漂白剤の消毒液（※）を用いて、ドアノブやスイッチなど人がよく触れるところを拭き取りましょう。消毒液で拭いた後は水拭きしましょう。

※ 家庭用塩素系漂白剤で消毒液をつくるときは、裏面の「環境の消毒方法」を活用しましょう。

- ⑧ 常に家族や従業員の体調変化に注意しましょう。
- ⑨ 感染が疑われる場合は、保健所や地域の診療所等へ電話相談しましょう。

## 環境の消毒方法

手指が頻回に接触する箇所を中心に、消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウムによる清拭を行いましょう。

### <手指がよく触れる箇所の例>

- ・ドアノブ、手すり、窓や棚の取手、照明のスイッチ、テーブル、椅子、電話機、パソコンのキーボード、エレベーターやオートロック及びコピー機等のボタン、水道の蛇口、洗水レバー、便器のフタ

### <消毒の方法>

- ・消毒用エタノールは、希釈せずそのまま使用できるものが多いです（消毒用エタノールは自然乾燥させます）。
- ・消毒液は、ペーパータオル等に十分に含ませて拭いた後、水拭きします。
  - ※ スプレーボトルでの噴霧は、ウイルス飛散の可能性があるので、好ましくありません。

### <消毒液の作り方（次亜塩素酸ナトリウムの場合）>

- ・一般的に「塩素系漂白剤」（塩素濃度約5%）として販売されています。
- ・製品の記載濃度をもとに、用途に応じ、薄めて使用してください。

用途	濃度	希釈方法
ドアノブ、手すり等の消毒	0.05% (500ppm)	500mlのペットボトル1本の水に塩素系漂白剤を5ml（ペットボトルのキャップ1杯）入れる
トイレや洗面所等の消毒	0.1% (1,000ppm)	500mlのペットボトル1本の水に塩素系漂白剤を10ml（ペットボトルのキャップ2杯）入れる

### <次亜塩素酸ナトリウムを扱うときの注意点>

- ・作った消毒液は、時間の経過とともに効果が減少していきます。作り置きをせず、こまめに作って使い切ってください。
- ・消毒液を入れたペットボトルは、「消毒液・飲用不可」等の表示をして乳幼児の手の届かない場所に保管するなど、誤飲を防ぎましょう。
- ・目や肌への影響があり、取り扱いには十分注意が必要です。
- ・必ず製品の注意事項を、ご確認ください。